

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

一般入試 I 期

【筆記試験 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
5. 「白紙」は下書き用に使用してください。
6. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

次の文章を読んで、以下の問題に解答しなさい。

※著作権の都合から説明文は割愛する。

出典：南風原 朝和・市川 伸一・下山 晴彦 (2001) 心理学研究法入門 調査・実験から実践まで
東京大学出版会 第3章 量的調査：尺度の作成と相関分析

問1 一般に「尺度得点」と呼ばれているものはどのようなものであるか、説明しなさい。また、「逆転項目」とは何かも説明し、尺度に「逆転項目」が含まれていた場合の取り扱いについても述べなさい。

問2 質問紙による調査研究で用いられる尺度を構成する過程では因子分析が行われることが多いが、探索的因子分析とはどのような分析法であるか、特に心理尺度を構成するための分析の進め方について説明しなさい。また、この分析における「回転」の概念について、直交回転と斜交回転を比較しながら説明しなさい。

問3 尺度の信頼性とはどのような概念であるか説明しなさい。またその検討方法を述べなさい。

問4 社会的価値指向性の尺度得点と、外向性の尺度得点との関係性を検討したい。この場合に用いる適切な統計分析法は何であるか解答せよ。また、その分析を行う上での注意点を説明せよ。なお、両変数はともに量的変数であり、正規分布に近似していて、ノンパラメトリックな分析法を選ぶ必要は無いものとする。

問5 以下の英文を和訳しなさい。

※著作権の都合から問題文は割愛する。

出典 : Nolen-Hoeksema, S., Fredrickson, B. L., Loftus, G. R., & Wagenaar, W. A. (2009) Atkinson & Hilgard's introduction to psychology 15th ed Wadsworth Cengage Learning. Chapter 1 The nature of psychology

2025 年度 大学院入試 一般入試 I 期 (心理学専攻) 模範解答

次の文章を読んで、以下の問題に解答しなさい。

※著作権の都合から説明文は割愛する。

出典：南風原 朝和・市川 伸一・下山 晴彦 (2001) 心理学研究法入門 調査・実験から実践まで
東京大学出版会 第3章 量的調査：尺度の作成と相関分析

問1 一般に「尺度得点」と呼ばれているものはどのようなものであるか、説明しなさい。また、「逆転項目」とは何かも説明し、尺度に「逆転項目」が含まれていた場合の取り扱いについても述べなさい。

(出題意図)

心理学の研究に用いられる調査法についての知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

尺度得点とは、各質問項目に対する回答の得点について、全ての項目の合計を求めたものを指す。例えば社会的価値指向性尺度において、「相手の…」の質問に「あてはまる (5点)」、「誰かが…」の質問に「ややあてはまる (4点)」、「家族や…」の質問に「あてはまる (5点)」とそれぞれ回答した場合、尺度得点は $5+4+5=14$ 点となる。

逆転項目とは、尺度内の他の質問とは逆方向の得点が付けられる項目を指す。社会的価値指向性尺度では得点が高いほど「社会的価値指向性が高い」ことを意味するが、例えば「家族や友人に対する愛情は浅い方だ」と文章を改変すれば、この項目に対して「あてはまらない」と回答した者の方が、社会的価値指向性が高いことになる。尺度に逆転項目が含まれていた場合、その回答の得点の大小関係を反転させて取り扱う。この尺度は5段階の回答で1点から5点が付けられるため、逆転項目への回答が「あてはまらない (1点)」であれば、この回答を5点として取り扱うことになる。

問2 質問紙による調査研究で用いられる尺度を構成する過程では因子分析が行われることが多いが、探索的因子分析とはどのような分析法であるか、特に心理尺度を構成するための分析の進め方について説明しなさい。また、この分析における「回転」の概念について、直交回転と斜交回転を比較し

ながら説明しなさい。

(出題意図)

心理学統計法における因子分析の基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

探索的因子分析とは、観測された複数の変数に対して影響をあたえる共通因子を探索する分析法である。観測変数の値は共通因子によって説明される部分と、独自因子によって説明される部分とで構成されると考え、共通因子を計算によって求める。心理尺度を構成するための分析の進め方としては、まず、算出する共通因子（以下、単に因子と表現する）の数を定めることに始まる。質問項目作成時の仮説、固有値の減衰を示したスクリープロットの形状を見る方法、情報量基準（AIC）を用いる方法、乱数相関行列を用いる平行分析法、MAP（最小平均偏相関）を用いる方法、最終的な因子解釈の可能性を検討する方法等、因子数を定める方法は多数ある。因子抽出の計算方法には、最尤法、主因子法、最小二乗法等がある。

因子の抽出がなされた後は、単純構造、すなわち、各項目がひとつの因子にのみ負荷し、他の因子負荷量がゼロに近くなるように因子軸を回転する手続きをとる。回転方法としては、大別して、バリマックス回転等の直交回転と、プロマックス回転等の斜交回転がある。直交回転は因子軸を直交に保ったまま回転する方法であるのに対して、斜交回転は因子軸の斜交を許し、因子間相関があることを許容する回転法である。心理尺度においては因子間の相関が想定される場合が多く、斜交回転を採用するのが妥当である。

心理尺度構成時の因子分析では、共通性が低く、因子負荷量の低かった項目を除外して再度分析をすることなど、様々な探索を行い、妥当な因子構造を探る。最終的に因子の意味合いを解釈し、因子分析を終了する。

問3 尺度の信頼性とはどのような概念であるか説明しなさい。またその検討方法を述べなさい。

(出題意図)

心理学の研究法における信頼性についての基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

信頼性とは、測定値における誤差の少なさを指している。測定値は真の値に誤差が加わったものであると考えられるが、この誤差は少ないことが望ましい。誤差にはランダムに生じるものも含まれており、信頼性が低い測定法においては、ある対象を複数回測ると、測るたびに異なる測定値が得られてしまうことになる。

信頼性の検討方法については再テスト法や折半法、クロンバックの α 係数などがある。再テスト法は、「測るたびに異なる測定値が得られてしまうか否か」を問題とする方法である。再テスト法によって信頼性を検討するには、同じ対象を複数回測定して、その測定値がどの程度一致するかを評価する。信頼性が高い測定法ならば、複数回の測定値は一致する。一方、折半法で信頼性を検討する場合は、質問項目を半数ずつに分けて、それぞれで合計点を求める。一方の合計得点と、他方の合計得点は、疑似的に「2回測定を行った」ものとして捉えられる。こちらも再テスト法と同様に、2つの合計得点がよく一致していれば、信頼性が高いと評価できる。

クロンバックの α 係数は内的整合性の指標とも呼ばれるものであり、項目間の相関係数の平均や項目数を用いて計算される値である。1に近い α 係数は、各項目の得点の相関が高く、得点の方向性が整合していることを意味する。

問4 社会的価値指向性の尺度得点と、外向性の尺度得点との関係性を検討したい。この場合に用いる適切な統計分析法は何であるか解答せよ。また、その分析を行う上での注意点を説明せよ。なお、両変数はともに量的変数であり、正規分布に近似していて、ノンパラメトリックな分析法を選ぶ必要は無いものとする。

(出題意図)

心理学統計法の基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

2つの変数の相関係数(ピアソンの積率相関係数)を求める。この分析を行う上では、曲線相関(2つの変数の間に曲線的な関係性があること)が認められないか、外れ値の影響がないか等が注意点である。

問5 以下の英文を和訳しなさい。

※著作権の都合から問題文は割愛する。

出典 : Nolen-Hoeksema, S., Fredrickson, B. L., Loftus, G. R., & Wagenaar, W. A. (2009) Atkinson & Hilgard's introduction to psychology 15th ed Wadsworth Cengage Learning. Chapter 1 The nature of psychology

(出題意図)

心理学について記述された英文の読解力を評価する。

(解答例)

著作権の都合から解答は割愛する。

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

一般入試Ⅱ期

【筆記問題 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
5. 「白紙」は下書き用に使用してください。
6. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

2025 年度 大学院入学試験 一般入試Ⅱ期 試験問題（心理学専攻）
試験時間 90 分

I 次の事例を読んで、各設問に解答しなさい。

A さん（公認心理師）は非常勤の心理相談員として、ある企業の健康相談室に勤務している。ある日 40 歳の管理職 K 氏が、一年来の集中力低下を訴えて健康相談室に来談した。外見からは現役の活動的なビジネスマンにしか見えない。K 氏の訴えは、「仕事をしようと思うと後頭部がズキンズキンと痛み、得体の知れない恐怖感を感じ、思考が停止して考えられなくなる。内科や脳外科を受診したが、異常がないと言って取り合ってくれない」というものだった。どうしたら良いのかも、自分に何が起きているのかも分からず、途方に暮れていたのである。

設問 1

K 氏の初回面接を行う際、A さんがまず配慮すべきことは何か、記述しなさい。

設問 2

上記の情報から、K 氏の「来談理由」をどのようにまとめることができるか、記述しなさい。また「来談理由」をより総合的に理解し、当面の援助方針を立てるには、更にどのような情報を把握する必要があるか、記載しなさい。

設問 3

厚生労働省の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」（平成 18 年公示、平成 27 年改正）について概略を説明しなさい。

II 次の英文を読んで、各設問に解答しなさい。

※著作権の都合から問題文は割愛する。

出典：E.H.Erikson, The Life Cycle Completed(extended version), W.W.Norton, New York・London, 1998.

設問 4

上の文を全て和訳しなさい。

設問 5

上の文を参考に、**basic trust** について説明しなさい。

2025 年度 大学院入試 一般入試Ⅱ期（心理学専攻）模範解答

I 次の事例を読んで、各設問に解答しなさい。

A さん（公認心理師）は非常勤の心理相談員として、ある企業の健康相談室に勤務している。ある日 40 歳の管理職 K 氏が、一年来の集中力低下を訴えて健康相談室に来談した。外見からは現役の活動的なビジネスマンにしか見えない。K 氏の訴えは、「仕事をしようと思うと後頭部がズキンズキンと痛み、得体の知れない恐怖感を感じ、思考が停止して考えられなくなる。内科や脳外科を受診したが、異常がないと言って取り合ってくれない」というものだった。どうしたら良いのかも、自分に何が起きているのかも分からず、途方に暮れていたのである。

設問 1

K 氏の初回面接を行う際、A さんがまず配慮すべきことは何か、記述しなさい。

(出題意図)

心理状態の観察及び結果の分析に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

初回来談者は、面接者を信頼して心の秘密を明かして良いものか、自分の訴えを面接者に十分理解してもらえるかなど、大きな緊張や不安を抱えている。これを「来談時不安」という。面接者は、来談者のこのような来談時不安（緊張感・不安感）に配慮し、緊張を解き、話しやすい雰囲気を作るよう気を配ることが必要である。

設問 2

上記の情報から、K 氏の「来談理由」をどのようにまとめることができるか、記述しなさい。また「来談理由」をより総合的に理解し、当面の援助方針を立てるには、更にどのような情報を把握する必要があるか、記載しなさい。

(出題意図)

心理状態の観察及び結果の分析に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

K 氏の来談理由は、「頭痛を伴う集中困難による就労不能。当惑状態にあるが、外見からは活動的なビジネスマンに見える」とまとめることができる。また、K 氏の来談理由をより総合的に理解し、当面の援助方針を立てるには、生育歴・家族の状況（家族歴）・職場での状況・来談の経緯などを把握する必要がある。また来談時の姿勢・態度・表情・話し方などの観察による情報も重要である。

設問 3

厚生労働省の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」（平成 18 年公示、平成 27 年改正）について概略を説明しなさい。

(出題意図)

産業・組織心理学に関連した知識を有しているかを判定する。

(解答例)

近年の労働者の業務上のストレスや心身の負担の現状から、厚労省は「事業場における労働者の心の健康の保持増進のための指針」(2006)を示した。この指針では、「セルフケア」、「ラインによるケア」、「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」、「事業場外資源によるケア」の4つを継続的かつ計画的に実施し、メンタルヘルス不調に対する「一次予防(未然防止)」、「二次予防(早期発見)」、「三次予防(職場復帰支援等)」が円滑に行われるようにすることとされている。さらに平成27年(2015)の改正では、セルフケアの一環として、労働者のストレスへの気づきを促すために、ストレスチェックの実施が重要とされた。

II 次の英文を読んで、各設問に解答しなさい。

※著作権の都合から問題文は割愛する。

出典：E.H.Erikson, The Life Cycle Completed(extended version), W.W.Norton, New York・London, 1998.

設問4

上の文を全て和訳しなさい。

(出題意図)

発達心理学に関する英語論文を正確に理解し、読み解く力を測ることを意図としている。

(解答例)

著作権の都合から解答は割愛する。

設問5

上の文を参考に、basic trust について説明しなさい。

(出題意図)

発達心理学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

基本的信頼とは、乳児の欲求や要求を養育者が察知し、適切に応答することを通して人格の基底に培われていく相互信頼感、外界に対する期待感をいう。エリクソンは、ライクサイクル理論の中で、乳児期の心理社会的危機を「基本的信頼 対 不信」と考えた。乳児は、授乳などにより自分の欲求に適切に答えてくれる環境から身体的安全や精神的安定を得ることができ、そのような養育者との関係を通して、外界への信頼や自己への信頼を築くことができる。一方、養育者が適切に応じることができない場合には、外界や自分への不信につながることで、発達や精神的健康に重大な影響を与えるとされている。

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

一般入試Ⅳ期

【筆記問題 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の左上に受験番号・氏名を記入してください。
5. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
6. 「白紙」は下書き用に使用してください。
7. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

問題1 F.Herzberg の 2 要因理論について、説明しなさい。

問題2 A.Ellis が創始した心理療法について、説明しなさい。

問題3 因子分析による解析を計画している調査用紙の回答形式として、適切なものはどのようなものか、理由も含めて記述しなさい。

問題4 以下の事例を読んで、公認心理師 C が、心理検査報告書にどのような内容を記載するか答えなさい。

20 歳の女性 A、大学 3 年生。A は、母親 B と精神科に受診した。B によると、A は、1 か月前に親友が交通事故に遭うのを目撃してから、物音に敏感になり不眠がちで、ささいなことでいらいらしやすく、集中力がなくなったという。一方、初診時の A は、「事故のダメージはない。母が心配しすぎだと思う」と声を荒げ、強い調子で B や医師の話さえぎった。医師の依頼で、公認心理師 C が A の状態把握の目的で心理検査を施行した。検査用紙を渡すと、A はその場で即座に記入した。結果は、BDI-II は 10 点、IES-R は 9 点であった。

問題5 以下の英文を和訳しなさい。

Gaming disorder is defined in the 11th Revision of the International Classification of Diseases (ICD-11) as a pattern of gaming behavior (“digital-gaming” or “video-gaming”) characterized by impaired control over gaming, increasing priority given to gaming over other activities to the extent that gaming takes precedence over other interests and daily activities, and continuation or escalation of gaming despite the occurrence of negative consequences.

For gaming disorder to be diagnosed, the behaviour pattern must be of sufficient severity to result in significant impairment in personal, family, social, educational, occupational or other important areas of functioning and would normally have been evident for at least 12 months.

2025 年度大学院入試 一般入試IV期 (心理学専攻) 模範解答

問題1 F. Herzberg の 2 要因理論について、説明しなさい。

(出題意図)

心理支援に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

2 要因理論では、満足に関わる要因と不満足に関わる要因は別のものであるとしている。満足を生み出す要因は「動機づけ要因」で、達成感や評価されることで、不満足を防ぐ要因は「衛生要因」で、給与などがそれにあたる。衛生要因が改善しても不満足は改善できるが、動機づけは高まらないとした。

問題2 A. Ellis が創始した心理療法について、説明しなさい。

(出題意図)

心理支援に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

A. Ellis が創始したのは、論理情動行動療法である。「論理情動行動療法 (REBT)」は、出来事そのものではなく、その出来事の受け取り方が感情を生み出すという考え方 (ABC 理論) に基づく心理療法である。非合理的な信念を合理的な信念に置き換えることで、感情や行動の問題を改善する心理療法である。

問題3 因子分析による解析を計画している調査用紙の回答形式として、適切なものはどのようなものか、理由も含めて記述しなさい。

(出題意図)

統計法に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

因子分析とは、多数の変数 (アンケートの各質問項目の回答) の背後に潜む共通の要因を統計的に見つけるための分析方法である。因子分析をするための前提条件として、数量的なデータであること、データ数が多いことがあげられる。そのため回答形式としては、リッカート尺度などの評定尺度法などが適当といえる。

問題4 以下の事例を読んで、公認心理師 C が、心理検査報告書にどのような内容を記載するか答えなさい。

20 歳の女性 A、大学 3 年生。A は、母親 B と精神科に受診した。B によると、A は、1 か月前に親友が交通事故に遭うのを目撃してから、物音に敏感になり不眠がちで、ささい

なことでいらいらしやすく、集中力がなくなったという。一方、初診時の A は、「事故のダメージはない。母が心配しすぎだと思う」と声を荒げ、強い調子で B や医師の話をさえぎった。医師の依頼で、公認心理師 C が A の状態把握の目的で心理検査を施行した。検査用紙を渡すと、A はその場で即座に記入した。結果は、BDI-II は 10 点、IES-R は 9 点であった。

事例出典：第 4 回公認心理師国家試験を改変

(出題意図)

心理状態の観察及び結果の分析に関する知識を有しているかと判定する。

(解答例)

BDI-II は、うつ症状の程度を測定する心理検査であり、その得点が 10 点ということはうつ症状の程度度が低いといえる。IES-R は、心的外傷後ストレス反応 (PTSD 評価尺度) を測定するための心理検査である。合計点は 0~88 点であり、特に 33 点以上が臨床的に注目される。そのため、IES-R が 9 点というのは、PTSD の可能性が低いといえる。心理検査の得点からは PTSD の可能性は低いが、その他の情報と齟齬があるため、再アセスメントが必要である。

問題 5 以下の英文を和訳しなさい。

Gaming disorder is defined in the 11th Revision of the International Classification of Diseases (ICD-11) as a pattern of gaming behavior (“digital-gaming” or “video-gaming”) characterized by impaired control over gaming, increasing priority given to gaming over other activities to the extent that gaming takes precedence over other interests and daily activities, and continuation or escalation of gaming despite the occurrence of negative consequences.

For gaming disorder to be diagnosed, the behaviour pattern must be of sufficient severity to result in significant impairment in personal, family, social, educational, occupational or other important areas of functioning and would normally have been evident for at least 12 months.

(出題意図)

精神医学に関する英語論文を正確に理解し、読み解く力を測ることを意図としている。

(解答例)

ゲーム障害は、ゲームに対する制御が損なわれ、ゲームが他の興味や日常の活動よりも

優先順位が上がり、否定的な結果が生じてもゲームを継続またはエスカレートすることを特徴とするゲーム行動のパターンとして ICD-11 に記載されている。

ゲーム障害と診断するには、行動パターンが個人、家族、社会、教育、職業または、その他の重要な領域に重大な障害をもたらすほど深刻であることが、通常少なくとも 12 ヶ月間はある。

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

推薦入試 I 期

【小論文試験 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
5. 「白紙」は下書き用に使用してください。
6. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

2025 年度 大学院入学試験 推薦入試 I 期 小論文問題 (心理学専攻)
試験時間 90 分

1) 統計的仮説検定について、以下に挙げるキーワードを含めて説明しなさい。

キーワード：帰無仮説，対立仮説，両側検定，検定統計量，有意水準

2) t 検定における「対応の有無」について説明しなさい。

3) カウンターバランスについて説明しなさい。

4) 天井効果と床効果について説明しなさい。また、これらの影響を避ける方法について論じなさい。

5) アナログ研究について、その利点と欠点を説明しなさい。

2025年度 大学院入試 推薦入試 I 期 (心理学専攻) 模範解答

1) 統計的仮説検定について、以下に挙げるキーワードを含めて説明しなさい。

キーワード：帰無仮説，対立仮説，両側検定，検定統計量，有意水準

(出題意図)

心理学統計法の基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

まず，帰無仮説と対立仮説を設定することから統計的仮説検定の手続きは始まる。例えば， t 検定においては2つの平均値が比較されるが，帰無仮説として「2つの平均値に差は無い」が設定される。対立仮説として，両側検定の場合は「2つの平均値に差がある」が，片側検定の場合は「一方の平均値が他方よりも大きい（または，小さい）」が設定される。続いて，標本（サンプル）のデータから検定統計量が算出される。 t 検定においては t 値が検定統計量として算出される。

この検定統計量について，帰無仮説が正しい場合にどのような分布で出現するのかを求める。この分布の中で，両側検定の場合は分布の両端，片側検定の場合は分布の一端に注目し，棄却閾の累積確率が有意水準として設定された値になる検定統計量（ t 値）の臨界値を求める。心理学の研究において有意水準は一般的に5%が採用される。有意水準を5%としたとき，両側検定においては分布の両端の累積確率の合計が5%になる臨界値が，片側検定においては分布の一端の累積確率が5%になる臨界値が求められる。この臨界値と標本から求められた検定統計量とを比較し，検定統計量が臨界値よりも大きい値，すなわち，より実現確率が低い値を持っているかを検討する。

検定統計量が臨界値よりも大きい値であった場合，帰無仮説のもとでその値が生じた確率，言い換えれば，「2つの平均値に差は無い」母集団からのサンプリングによって偶然に生じたものである確率は十分に低いということの意味している。従って，この場合は帰無仮説を棄却し対立仮説を採択することになる。

2) t 検定における「対応の有無」について説明しなさい。

(出題意図)

心理学統計法の基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

t 検定は「対応のある t 検定」と「対応のない t 検定」の2つがある。対応のある t 検定の場合，比較対象となる2群のデータ内にペアの関係性がある。例えば，ある認知課題における反応時間を計測するうえでAの条件とBの条件がある場合，各実験参加者がAB両方の条件に参加し，それぞれの条件における測定を受けるという状況が挙げられる。この場合，同一の実験参加者が示した2つの値として，A条件とB条件の値に対応関係がある。このようなデータに対しては「対応のある t 検定」を行う。

一方で，比較対象となる2群のデータが独立している場合が「対応のない t 検定」に該当する。例えば，高校における2クラスの学力を比較する場合，AクラスとBクラス，それぞれを構成しているメンバーは独立している。Aクラスのデータを構成している者と，Bクラスのデータを構成している者は別々である。このような場合においては「対応のない t 検定」を行う。

3) カウンターバランスについて説明しなさい。

(出題意図)

心理学の実験研究法に関する基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

カウンターバランスとは、測定の実施順序を参加者ごとに異なるように設定することで、順序がもたらす影響を相殺する手続きのことである。例えば、ある認知課題における反応時間を計測する実験で、課題内容の異なる A 条件と B 条件の 2 つがあるとする。反応時間を変動させる要因としては、課題内容の違いだけでなく、参加者の実験への慣れや、疲労状態の変化なども考えられる。この時、実験参加者の全員が A 条件の測定を先に行い、続いて B 条件の測定を後に行った場合、A 条件は慣れが無く、疲労も無い測定値が得られる一方で、B 条件には慣れや疲労が重なった測定値が得られてしまう。このようなデータでは、2 条件の間に現れた反応時間の差が、課題内容の違いによって生じたのか、慣れや疲労などの実施順序の要因によって生じたのか、解釈ができなくなってしまう。

そこで、参加者の半数は A 条件を先行させ、残りの半数には B 条件を先行させる。条件ごとに平均値を求めれば、順序の影響を相殺した値が得られる。このカウンターバランスの操作により、条件間の差異を、より妥当に検証することができる。

4) 天井効果と床効果について説明しなさい。また、これらの影響を避ける方法について論じなさい。

(出題意図)

心理学研究法に関する基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

天井効果とは測定値が取りうる範囲のなかで高得点に集中してしまうことを指し、床効果はその反対に、低得点に集中してしまうことを指す。例えば、小学生の算数の学力を評価する場合、中学生向けの数学のテストを用いてしまうと対象者の得点は低得点に偏ってしまう。すなわち床効果が生じてしまう。逆に、中学生の数学の学力を評価する場合、小学生向けの算数のテストを用いてしまうと対象者の得点は高得点に偏り、天井効果が生じてしまう。天井効果と床効果のいずれも、対象者集団が本来もっていた分布を観察することができず、個人差を適切に捉えることができない。

天井効果や床効果の発生を防ぐには、測定の対象と測定方法の対応関係が妥当であるかを確認することが必要となる。具体的には、例えば、本調査（あるいは本実験）の実施前に予備調査（予備実験）を実施し、値の分布を確認するという手順が挙げられる。予備調査のデータを分析し、天井効果や床効果の発生が懸念された場合、質問項目文の修正、実験課題の修正、測定方法の修正等を行う。

5) アナログ研究について、その利点と限界点を説明しなさい。

(出題意図)

心理学の臨床研究法に関する基礎知識を有しているか否かを判定する。

(解答例)

アナログ研究とは、臨床的な研究課題において臨床群に連続的な関連性のある一般の者を対象として行うものを指す。例えば不安障害と診断された者（臨床群）を研究対象とする代わりに、不安傾向の強い健常者（非臨床群）を研究対象とする。臨床群と非臨床群の間に連続的な関係性があることを前提としている。

この研究法の利点としては、一般的に臨床群よりも非臨床群の方が多数のデータを得ることが可能であるため、高度な統計的分析が可能であることが挙げられる。また、臨床群との比較により非臨床群との間の差異を検討できることも利点である。厳密に条件を統制した実験的研究も、非臨床群において行いやすい。

一方の限界点としては、非臨床群により得られた情報が臨床群に一般化して良いか一概に言えないことが挙げられる。両群間には質的な差異があることも考えられる。また、臨床群はそれぞれの個人が持つ「個別性」があると考えられるが、非臨床群全体の傾向を分析しても個別性に関しては情報を得にくいという点も、限界点として考えられる。

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

推薦入試Ⅲ期

【小論文試験 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
5. 「白紙」は下書き用に使用してください。
6. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

2025 年度 大学院入学試験 推薦入試Ⅲ期 小論文問題（心理学専攻）
試験問題 90 分

- 1) 信頼係数について説明しなさい。

- 2) 精神保健福祉センターが行う業務について説明しなさい。

- 3) こども家庭庁が示す児童養護施設運営指針などにおける、「社会的養護の原理」について説明しなさい。

- 4) DSM-5 の神経発達症群／神経発達障害群のうち、トゥレット症／トゥレット障害について説明しなさい。

- 5) 1 歳 6 か月の女兒 A、乳児保育園に通園中。A は、1 か月前に入園後、登園時における母親 B からの分離不安が強く、執拗に激しく泣き続ける。そのため、B が耐えられなくなり、そのまま家に連れ帰ったことも数回ある。分離が可能な日も、園では長くぐずった状態が続き、とりわけ担当保育者に対するしがみつきや後追いが、ほぼ日中、持続してしまうこともある。夕方、B が迎えに来ると、A はすぐに B に近接しようとするが、怒りながら泣き叫ぶことが多く、容易になだめられない。
A の行動について、心理学視点から説明しなさい。

注：本問題は、第 7 回公認心理師試験問題を改変したものである

2025 年度大学院入試 推薦入試Ⅲ期（心理学専攻）模範解答

1) 信頼係数について説明しなさい。

(出題意図)

統計法に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

統計的推定値の信頼性を表す指標が信頼係数で、多くの場合パーセンテージで表される。母集団パラメータが指定された信頼区間内に含まれる可能性を示し、信頼係数 95% の場合、信頼区間の 95% に真の母集団パラメータが含まれることになる。サンプルから母集団を予測する推計学の基本となる。

2) 精神保健福祉センターが行う業務について説明しなさい。

(出題意図)

関係行政機関に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

精神保健福祉法に規定された都道府県、政令指定都市が設置する地域精神保健福祉活動の中核機関である。業務としては、市町村や保健所職員に対する技術援助、研修のほか、啓発普及、調査研究や関係団体に対する組織育成、複雑困難事例を対象とした相談などがある。

また、自立支援医療費の支給認定や精神障害者保健福祉低調の等級判定、精神医療審査会に関する事務も担当する。

3) こども家庭庁が示す児童養護施設運営指針などにおける、「社会的養護の原理」について説明しなさい。

(出題意図)

福祉心理学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

社会的養護原理は、社会的養護を必要とする子どもと家庭を支援し、子どもを健やかに育成するための考え方である。

こども家庭庁が示す児童養護施設運営指針では、以下の項目が社会的養護の原理としている。家庭的養護と個別化、発達保護と自立支援、回復を目指した支援、家庭との連携・協働、継続的支援と連絡アプローチ、ライフサイクルを見通した支援。

4) DSM-5 の神経発達症群／神経発達障害群のうち、トゥレット症／トゥレット障害について説明しなさい。

(出題意図)

精神医学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

DSM-5 では、トゥレット症/トゥレット障害の診断基準として以下の 4 点を上げている。

- ①多彩な運動チック、および 1 つまたはそれ以上の音声チックの両方が、同時に存在するとは限らないが、疾患のある時期に存在したことがある。
- ②チックの頻度は増減することがあるが、最初のチックが始まってから 1 年以上は持続している。
- ③発症は 18 才以前である。
- ④この障害は物質の生理学的作用または医学的疾患によるものではない。

5) 1 歳 6 か月の女兒 A、乳児保育園に通園中。A は、1 か月前に入園後、登園時における母親 B からの分離不安が強く、執拗に激しく泣き続ける。そのため、B が耐えられなくなり、そのまま家に連れ帰ったことも数回ある。分離が可能な日も、園では長くぐずった状態が続き、とりわけ担当保育者に対するしがみつikyや後追いが、ほぼ日中、持続してしまうこともある。夕方、B が迎えに来ると、A はすぐに B に近接しようとするが、怒りながら泣き叫ぶことが多く、容易になだめられない。A の行動について、心理学視点から説明しなさい。

注：本問題は、第 7 回公認心理師試験問題を改変したものである

(出題意図)

発達心理学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

女兒 A の行動については、母親からの分離不安が強いが、母親が迎えに来ると泣きながら叫ぶことが多い。そのことから、エインズワースのストレンジ・シチュエーション法に基づく愛着の分類では、アンビバレント型と判断される。

田園調布学園大学大学院

人間学研究科 心理学専攻

2025 年度入学試験

推薦入試Ⅳ期

【小論文問題 90 分】

(注 意)

1. 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
2. 試験時間は90分です。
3. 「解答用紙」は横書きで使用してください。
4. 「解答用紙」の左上に受験番号・氏名を記入してください。
5. 「解答用紙」の右上に通し番号を記入してください。
6. 「白紙」は下書き用に使用してください。
7. 「問題用紙」、「解答用紙」、「下書用紙」は全て回収します。

問題1 G.Bateson の二重拘束理論について、説明しなさい。

問題2 ケース・フォーミュレーションについて説明しなさい。

問題3 ランダム化比較試験について説明しなさい。

問題4 成人年齢が 18 歳となったことで、少年法はどのような改正が行われたか記述しなさい。

問題5 以下の事例を読んで、問題に答えなさい。

70 歳の女性 A。長男、長男の妻及び孫と暮らしている。A は、持病もなく元気で暮らしていたが、1 年ほど前に精神科を受診して、軽度の「B」と診断された。A は、診断後も自宅近所のスポーツジムに一人で行っていた。1 か月ほど前、自宅をリフォームし、収納場所が新たに変わった。それを機に、探し物が増え、スポーツジムで使う物が見つけられなくなったため、出かけるのをやめるようになった。A は、物の置き場所をどのようにしたらよいか分からず、困っているという。

問(1) : 診断名「B」として考えられるものを答えなさい。

問(2) : A に対して行うべき介入を答えなさい。

2025 年度大学院入試 推薦入試 I 期（心理学専攻）模範解答

問題 1 G. Bateson の二重拘束理論について、説明しなさい。

(出題意図)

臨床心理学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

二重拘束とは、親から子どもに対して言語メッセージと同時に非言語的メッセージが送られ、その双方のメッセージに矛盾があり、子どもがそれをどう受け取ったら良いか葛藤状態になること。

問題 2 ケース・フォーミュレーションについて説明しなさい。

(出題意図)

心理状態の観察及び結果の分析に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

ケース・フォーミュレーションは、問題の背景などについての情報を基にクライアントの抱える問題等をクライアントひとり一人個別のものと捉えて仮説を立て、その仮説に沿って介入がしていくことである。

問題 3 ランダム化比較試験について説明しなさい。

(出題意図)

研究法に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

ランダム化比較試験 (Randomized Controlled Trial : RCT) とは、参加者を介入群とコントロール群に無作為に分け、介入の効果を比較する実験的研究法である。参加者を無作為に分けることにより、結果に影響する様々なバイアスを排除することや因果関係の明確化を示すことができる。

問題 4 成人年齢が 18 歳となったことで、少年法はどのような改正が行われたか記述しなさい。

(出題意図)

司法制度に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

民法改正により令和4年から成人年齢が18才となったが、しかし、少年法の規定では、少年は20才未満の者をいい、成人は満20才以上の者を指す。

18・19才の者が罪を犯した場合は、その立場に応じた取り扱いをするため、「特例少年」を定めた。

問題5 以下の事例を読んで、問題に答えなさい。

70歳の女性A。長男、長男の妻及び孫と暮らしている。Aは、持病もなく元気で暮らしていたが、1年ほど前に精神科を受診して、軽度の「B」と診断された。Aは、診断後も自宅近所のスポーツジムに一人で出かけていた。1か月ほど前、自宅をリフォームし、収納場所が新たに変わった。それを機に、探し物が増え、スポーツジムで使う物が見つけられなくなったため、出かけるのをやめるようになった。Aは、物の置き場所をどのようにしたらよいか分からず、困っているという。

事例出典：第4回公認心理師国家試験を改変

問(1)：診断名「B」として考えられるものを答えなさい。

(出題意図)

精神医学に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

軽度の「B」と診断されていたが、リフォームを契機に認知機能の低下が顕著になったと考えられる。認知機能の低下が、「B」疾患の症状と考えることが妥当であり、そのように考えると診断名は、認知症となる。

問(2)：Aに対して行うべき介入を答えなさい。

(出題意図)

心理支援に関する知識を有しているかを判定する。

(解答例)

困っているのは、収納場所が変わったことにより、探し物が見つからなくなったことである。そのことから、環境面の整備・支援によって改善が期待できる。